

航空法第111条の4に基づく報告一覧(平成30年4月～平成31年3月)

航空輸送の安全にかかわる情報(平成30年度)別冊

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/1	せとちSEAPLANES	クレスト式Kodiak 100型	JA02TG	境が浜	広島空港	離着陸訓練中、脚上げ操作をしたところ前脚(右側)が格納されたことを示すライトが点灯しなかった。	イレギュラー運航
4/1	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA813P	福岡空港	関西国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/1	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ	新千歳空港	中部国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/2	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA805X	大分空港	東京国際空港	上昇中、対地接近警報装置の不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
4/2	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA11FJ	山形空港	仙台空港	到着後、搭載していた貨物の一部を重量・重心位置データに適切に反映しないで運航したことが判明した。	
4/2	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	旭川空港	東京国際空港	到着後の点検にて、主脚格納室内の抽気系統の配管接続部より漏れが発見された。	
4/3	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	旭川空港	出発準備中、客室内の防水携帯灯が不動作であることを発見した。	
4/3	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	東京国際空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/3	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA51AN	新千歳空港	関西国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/4	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	中部国際空港	新潟空港	運航乗務員が服用を認められていない薬品を服用していたことが判明した。	
4/5	日本航空	ボーイング式787-9型	JA863J	ジャカルタ	成田国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第1エンジンの整流板の損傷を発見した。	
4/6	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA85AN	新千歳空港	中部国際空港	離陸時、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	東京国際空港	神戸空港	着陸復行中、誤った認識により管制指示高度を逸脱した。	
4/6	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850C	奄美空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/6	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	大阪国際空港	熊本空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/6	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	シカゴ	成田国際空港	到着後、主脚のタイヤが部分的に剥がれていることが発見された。	
4/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA315J	台北(桃園)	中部国際空港	到着後、前便にて取り下ろすべき貨物が、降ろされなかったため無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
4/8	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA11AN	新千歳空港	東京国際空港	飛行中、機内放送システムに客室と操縦室間の通話が不通になる不具合が発生した。	
4/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA18JJ	マニラ	成田国際空港	整備委託先において、使用が認められていない資材を使用して整備処置を行ったことが判明した。	
4/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ	関西国際空港	那覇空港	進入中、管制官から指示された高度を失念し逸脱した。	
4/8	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844C	鹿児島空港	奄美空港	上昇中、機内の与圧が正常に加圧出来なかったため、引き返した。	イレギュラー運航
4/9	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA212J	徳之島空港	鹿児島空港	空調系統の運用許容基準の適用にあたり、貨物室へのドライアイスの搭載制限を超過して運航した。	
4/9	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA252J	大阪国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA707A	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A	中部国際空港	熊本空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA316J	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	成田国際空港	アンカレッジ	整備品整備委託先において、最新でない作業手順書に従い作業されていたことが判明した。	
4/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	上海(浦東)	成田国際空港	出発後、貨物室内に作業監視用カメラを置き忘れたまま出発したことが判明した。	
4/9	新日本ヘリコプター	ベルク412EP型	JA6412			社内調査の結果、必要な検査を受けていない整備品を装着したことが判明した。	
4/9	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN	中部国際空港	函館空港	社内調査の結果、補助動力装置の取付けに必要な部品を装着していないことが判明した。	
4/11	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	JA01HC	札幌飛行場	函館空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/11	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA782A	成田国際空港	ロサンゼルス	出発前に飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、上昇中、管制指示経路及び管制指示高度を逸脱した。	
4/12	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A			定時整備中、客室扉下部の構造部材に腐食が発見された。	
4/12	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA757A	東京国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/12	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ			整備委託先において、操縦室のスイッチに製造者が認めていない部品が取り付けられていたことが判明した。	
4/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8677			定時整備中、左右水平安定板の外皮に腐食が発見された。	
4/13	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	成田国際空港	関西国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/13	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA131A	東京国際空港	高知空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/13	日本航空	ボーイング式787-9型	JA868J	シドニー	成田国際空港	管制指示を受けずに滑走路に進入しようとした。	
4/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	アムステルダム	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
4/14	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	アンカレッジ	シカゴ	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	大阪国際空港	松山空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	中部国際空港	熊本空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/15	せとうちSEAPLANES	クエスト式Kodiak 100型	JA02TG	境方浜	境方浜	着水訓練中、右前方の支柱の破断及び取付構造部損傷させた。	航空事故
4/15	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA820P	台北(桃園)	新千歳空港	離陸後、受託手荷物に関わる搭載位置の変更指示を失念したことから誤った重量・重心位置のデータで運航したことが判明した。	
4/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA621A			定時整備中、右主翼下面の外皮に亀裂が発見された。	
4/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	小松飛行場	福岡空港	運航便の遅延に関わる勤務時間調整を行わなかったため、勤務時間制限を超過したことが判明した。	
4/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	小松飛行場	福岡空港	運航便の遅延に関わる勤務時間調整を行わなかったため、勤務時間制限を超過したことが判明した。	
4/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	小松飛行場	福岡空港	運航便の遅延に関わる勤務時間調整を行わなかったため、勤務時間制限を超過したことが判明した。	
4/18	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA60AN	東京国際空港	鳥取空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/18	日本航空	ボーイング式777-200型	JA701J	北京	成田国際空港	重量・重心位置のデータを誤入力したため、誤った重量・重心位置のデータで運航したことが判明した。	
4/18	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA002C	札幌飛行場	釧路空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			社内調査の結果、構造損傷の計測手順に誤りがあったことが判明した。	
4/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA252J	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/19	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA131A	東京国際空港	宮崎空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A			定時整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
4/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	宮古空港	那覇空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/21	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA19JJ	那覇空港	成田国際空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/21	バニラ・エア	エアバスA320-214型	JA05VA	成田国際空港	関西国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/21	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA778A	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	大阪国際空港	花巻空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/22	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	関西国際空港	東京国際空港	到着後、主脚のタイヤが部分的に剥がれていることが発見された。	
4/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	シカゴ	成田国際空港	重量・重心位置のデータを誤入力したため、誤った重量・重心位置のデータで運航したことが判明した。	
4/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	フランクフルト	ミラノ	他の貨物と同一箇所で保管され、個数の確認を怠ったことから危険物の申告をせずに輸送したことが、判明した。	
4/22	日本航空	ボーイング式787-9型	JA870J	クアラルンプール	成田国際空港	運用許容基準の適用にあたりで必要な書類を搭載せずに運航したことが判明した。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	福岡空港	東京国際空港	降下中、他の操作に気を取られ、適切な確認行為のないままフラップ操作を行ったことによりフラップの運用限界高度を超過した。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	福岡空港	那覇空港	ギャレー内の安全確認終了後、コンテナを再度開閉したがロックが不十分であったため、離陸時、ギャレーのコンテナが飛び出した。	
4/22	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA786A	ロンドン	東京国際空港	荷主が必要な申請を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
4/22	せとうちSEAPLANES	クエスト式Kodiak 100型	JA03TG	境方浜	境方浜	機長による飛行前の点検において、左翼の翼端に損傷が発見された。	
4/23	全日本空輸	エアバスA321-211型	JA114A	東京国際空港	宮崎空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/24	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA12JJ			耐空検査の準備作業中、乗客用座席に製造者が認めていないベルトが取り付けられていたことが判明した。	
4/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	アンカレッジ	シカゴ	上昇中、乱気流への対応に追われたことからフラップの運用限界速度を超過した。	
4/24	エアアジア・ジャパン	エアバスA320-216型	JA02DJ			運航整備中、補助動力装置の消火器が発射されたことを示すライトが点灯した。	
4/25	全日本空輸	エアバスA321-211型	JA111A	東京国際空港	宮崎空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/25	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA07MC	関西国際空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/25	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA07JJ			社内調査の結果、乗客用座席に製造者が認めていないベルトが取り付けられていたことが判明した。	
4/25	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA85AN	紋別空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/26	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA06JJ			社内調査の結果、乗客用座席に製造者が認めていないベルトが取り付けられていたことが判明した。	
4/26	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA07MC	東京国際空港	福岡空港	社内調査の結果、乗客用座席の不具合に対して必要とされる運用許容基準を適用せずに運航したことが判明した。	
4/27	エアー・ジャパン	ボーイング式787-9型	JA894A	ホノルル	成田国際空港	貨物の一部を搭載し忘れた結果、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
4/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	神戸空港	百里飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	百里飛行場	新千歳空港	運航整備中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
4/28	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA819A	大阪国際空港	那覇空港	降下中、脚下げ操作を行ったところ前脚が展開しないことが判明した。	
4/28	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA227J	徳島飛行場	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/28	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA08KZ			社内調査の結果、避雷による損傷に対して、構造修理が適切に実施されていないことが判明した。	
4/29	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA789A	成田国際空港	シカゴ	到着後、主脚のタイヤが部分的に剥がれていることが発見された。	
4/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	那覇空港	広島空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	大阪国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/29	全日本空輸	E7ハス・インダストリー式A320-211型	JA8946	東京国際空港	徳島飛行場	社内調査の結果、フラップのシールの欠損について修理持ち越しが適用出来ない状態で運航した事が判明した。	
4/29	パニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA01VA	台北(桃園)	那覇空港	旅客搭乗後に行った機内での座席変更が反映されず、不正確な重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
5/1	琉球エア・コンピューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	北大東空港	那覇空港	降下中、脚下げ操作を行ったところ前脚が展開しないことが判明した。	
5/1	日本航空	ボーイング式787-8型	JA822J	サンディエゴ	成田国際空港	飛行中、化粧室内の煙探知機の不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	那覇空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/1	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA462A	大阪国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/2	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA804P	新千歳空港	仙台空港	進入中、ウインドシアー警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	ロサンゼルス	サンフランシスコ	貨物の一部を取り下ろし忘れた結果、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
5/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J	福岡空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/2	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA08MC	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A	福岡空港	宮崎空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/2	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA81AN	中部国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA18AN	香港	中部国際空港	到着後、手荷物表示のない荷物が発見され、調査の結果、出発地の地上作業員の荷物であることが判明し中身を確認したところ危険物が含まれていた。	
5/2	全日本空輸	E7ハス・インダストリー式A320-211型	JA8946			定時整備中、胴体の客室扉開口部の構造に亀裂が発見された。	
5/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	宮崎空港	中部国際空港	地上走行中、後方貨物室の火災を示すライトが点灯した。	
5/3	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA10FJ	花巻空港	種子島空港	運航便のダイバート後の遅延に関わる乗務時間調整が適切でなかったため、乗務時間制限を超過したことが判明した。	
5/3	エアアジア・ジャパン	E7ハス式A320-216型	JA01DJ	中部国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、貨物室で発見された不具合に対して適切な持ち越し処置が行われていないことが判明した。	
5/3	日本航空	ボーイング式737-800型	JA332J	東京国際空港	鹿児島空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/4	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA304K			定時整備中、胴体床面の構造部に亀裂が発見された。	
5/5	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	新石垣空港	那覇空港	離陸滑走中、第1エンジンに鳥が衝突したことから、離陸を中止した。	
5/6	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	シンガポール	バンコク	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/6	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA03JJ	那覇空港	関西国際空港	運航後、乗務員の誤った認識により、適用すべき運用許容基準を適用していなかったことが判明した。	
5/7	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA816P	関西国際空港	那覇空港	飛行中、抽気が高温であることを示す計器表示の後、抽気システムに不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
5/7	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	成田国際空港	成田国際空港	特別整備中、客室乗務員用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
5/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	大阪国際空港	熊本空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/8	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	旭川空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/8	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	シカゴ	アンカレッジ	到着後、輸送された危険物に貨物機専用の表示がなく、当該申告もなかったことが判明した。	
5/8	日本航空	ボーイング式737-800型	JA331J	徳島飛行場	東京国際空港	出発後、前便にて取り降ろす予定の酸素ボトルを取り下ろさなかったことから無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
5/9	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA733A	シカゴ	成田国際空港	客室座席の不具合に対して適用が求められている運用許容基準を適用せず運航したことが判明した。	
5/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	仙台空港	神戸空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/9	日本航空	ボーイング式787-8型	JA834J			社内調査の結果、空調系統の断熱材の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
5/9	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA809P	台北(桃園)	関西国際空港	上昇中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A			装備品整備中、航空機用救命無線機の重力検知器に不具合が発見された。	
5/10	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	シカゴ	アンカレッジ	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/10	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	アンカレッジ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/10	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA717A	東京国際空港	岡山空港	降下中、自動操縦装置のモードが切り替わったことから、飛行高度を誤った高度と思い込んだことから管制指示高度を逸脱した。	
5/11	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	シカゴ	フランクフルト	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8986	東京国際空港	徳島飛行場	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/11	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA303K	宮古空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/11	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA86AN	長崎空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/11	日本航空	ボーイング式787-8型	JA826J			社内調査の結果、空調系統の断熱材の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
5/11	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA06VA			定時整備において、過去に実施した非常用脱出装置の取り付け作業に誤りがあったことが判明した。	
5/11	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA06VA			定時整備において、過去に実施した非常用脱出装置の取り付け作業に誤りがあったことが判明した。	
5/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	熊本空港	復行中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/13	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA23MC	東京国際空港	福岡空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/13	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A			定時整備中、胴体後方の圧力隔壁に腐食が発見された。	
5/13	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A			定時整備中、胴体下部の外皮に腐食が発見された。	
5/14	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA23MC	北九州空港	東京国際空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	新千歳空港	進入中、ウィンドシアー警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/14	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	上海(浦東)	成田国際空港	降下中、速度の確認に不足があったことからフラップの運用限界速度を超過した。	
5/14	エアアジア・ジャパン	E7ハス式A320-216型	JA01DJ	中部国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、機内のギャレーで発見された不具合に対して適切な持ち越し処置が行われていないことが判明した。	
5/15	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA24MC	関西国際空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出報知器の警報が不動作であることを発見した。	
5/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
5/16	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA06VA	成田国際空港	台北(桃園)	前日までの定時整備にて実施した機体構造点検後の復旧作業において、非常用照明灯の復旧を忘れていたことが判明した。	
5/16	朝日航洋	川崎BK117C-2型	JA117R	群馬ヘリポート	群馬ヘリポート	社内調査の結果、ローター構成の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
5/16	日本エアコミューター	ATR42-500型	JA03JC	鹿児島空港	種子島空港	到着後、前便にて取り下ろすはずドライアイスを取り下ろさなかったことから無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
5/16	日本航空	ボーイング式767-300型	JA621J	成田国際空港	マニラ	飛行中、飛行管理装置の一時的な誤動作により管制指示高度を逸脱した。	
5/17	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA8664	那覇空港	台北(桃園)	到着後、左主翼の高揚力装置(フラップ)に一部欠損が発見された。	
5/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975	東京国際空港	出雲空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA10JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA14JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA07JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA09JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA10JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA20JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA14JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA06JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA19JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA21JJ			整備委託先で実施した電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
5/17	ソラドエア	ホーイング式737-800型	JA811X	東京国際空港	熊本空港	社内調査の結果、定期訓練において合格と誤判定された客室乗務員が乗務していたことが判明した。	
5/17	全日本空輸	ホーイング式767-300型	JA8362	那覇空港	関西国際空港	離陸後、機長の確認が行われていない危険物が搭載されていたことが判明した。	
5/18	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM			社内調査の結果、耐空性改善通報による主脚の点検期限を超過していたことが判明した。	
5/19	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA817P	関西国際空港	ソウル(仁川)	離陸滑走中、操縦系統(スポイラー)に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
5/19	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA04VA	成田国際空港	台北(桃園)	離陸後、機長の通知が行われていない危険物が搭載されていたことが判明した。	
5/19	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA02JJ	鹿児島空港	中部国際空港	地上担当者が貨物重量値を誤入力したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
5/19	ANAウイングス	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	福岡空港	対馬空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA10FJ	名古屋飛行場	福岡空港	地上担当者が誤った旅客内訳の登録をしたことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
5/20	AIRDO	ホーイング式737-700型	JA09AN	女満別空港	東京国際空港	到着後、前方乗降用扉の作動に引っかかりがあり、開けることが出来なかった。	
5/20	全日本空輸	E7ハス・インダストリー式A320-211型	JA8947	東京国際空港	鳥取空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/20	全日本空輸	ホーイング式767-300型	JA615A	新潟空港	大阪国際空港	飛行中、客室内の蛍光灯のカバーが脱落した。	
5/21	日本貨物航空	ホーイング式747-8F型	JA15KZ	フランクフルト	ミラノ	到着後、危険物輸送の書類と異なる位置に危険物を搭載していたことが判明した。	
5/21	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA808P			定時整備の点検で、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
5/21	ソラドエア	ホーイング式737-800型	JA807X	宮崎空港	東京国際空港	社内調査の結果、使用期限を超過した操縦室用音声録音装置の電池が取り付けられていることが判明した。	
5/22	日本航空	ホーイング式767-300型	JA602J	東京国際空港	大阪国際空港	到着後、第2エンジンを通常操作で停止することができなかった。	
5/22	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA810P	台南	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/22	春秋航空日本	ホーイング式737-800型	JA03GR			社内調査の結果、救命胴衣の点検期限が超過したことが判明した。	
5/22	琉球エア・コミュニーター	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC			社内調査の結果、航空機用救命無線機に認識データを入力していなかったことが判明した。	
5/22	朝日航洋	ユーロコプター式AS350B3型	JA6504	東京ヘリポート	朝日川越ヘリポート	到着後、有効な法定書類を搭載せずに運航したことが判明した。	
5/23	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA810P	関西国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/23	春秋航空日本	ホーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	武漢	巡航中、化粧室の煙検知器が作動したため、確認したところ乗客が喫煙していたことが判明した。	
5/23	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA01VA			定時整備にて実施した作業に使用された工具が、機体に取り付いたままであることが判明した。	
5/24	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA09MC			定時整備中、乗客用座席のカバーに製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
5/24	全日本空輸	ホーイング式777-200型	JA709A	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/24	日本航空	ホーイング式767-300型	JA8980	熊本空港	東京国際空港	上昇中、第1エンジンの振動及び排気ガス温度が上昇を示す計器表示があったため、引き返した。	重大インシデント
5/25	全日本空輸	ホーイング式767-300型	JA8674	仙台空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/25	全日本空輸	E7ハス・インダストリー式A320-211型	JA8313	東京国際空港	大分空港	上昇中、高揚力装置(フラップ)に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
5/25	全日本空輸	ホーイング式767-300F型	JA601F	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
5/25	全日本空輸	ホーイング式777-300型	JA756A	東京国際空港	新千歳空港	到着後、主脚タイヤの全周に剥がれが発見された。	レギュラー運航
5/25	日本貨物航空	ホーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	アムステルダム	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
5/25	ANAウイングス	ホーイング式737-500型	JA305K			定時整備中、胴体床面の構造部に亀裂が発見された。	
5/26	エアージャパン	ホーイング式767-300型	JA8286	天津	成田国際空港	飛行中、飛行経路の入力を誤ったため管制指示経路を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/26	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA810P			定時整備の点検で、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
5/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8995	宮古空港	那覇空港	上昇中、第2エンジンの排気ガス温度が上昇すると共に、抽気システムに不具合があったことを示すライトが点灯したことから、乗員の手順書に従い飛行を継続した。	
5/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	岡山空港	東京国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/28	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA10FJ	花巻空港	名古屋飛行場	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA829A			定時整備中、非常用脱出装置を膨らますためのボトルの圧力が低下していることが発見された。調査の結果、当該部品は新規購入品であることが判明した。	
5/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	那覇空港	中部国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	新石垣空港	東京国際空港	着陸時、両エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	小松飛行場	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/30	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA756A			定時整備中、非常用脱出装置を膨らますためのボトルの圧力が低下していることが発見された。	
5/31	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	ニューヨーク	東京国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置を展開した後、逆推力を増加させることが出来なかった。	
5/31	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA878A	東京国際空港	上海(虹橋)	管制通話に気を取られ、乗員間の会話が不足したため速度の確認が不十分であったことからフラップの運用限界速度を超過した。	
6/3	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	バンコク	成田国際空港	整備委託先で実施した鳥衝突による点検作業において不備があったことが判明した。	
6/4	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA802A			定時整備中、非常用脱出装置を膨らますためのボトルの圧力が低下していることが発見された。	
6/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	目的地の代替え空港に選定してはいけない空港を設定していたことが判明した。	
6/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	成田国際空港	アンカレッジ	目的地の代替え空港に選定してはいけない空港を設定していたことが判明した。	
6/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	アンカレッジ	目的地の代替え空港に選定してはいけない空港を設定していたことが判明した。	
6/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	目的地の代替え空港に選定してはいけない空港を設定していたことが判明した。	
6/4	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA05JJ	関西国際空港	那覇空港	前脚のタイヤ交換作業において部品の一部を取り付けていないことが判明した。	
6/5	朝日航洋	MDヘリコプター式MD900型	JA6909	千葉県八千代市内場外	千葉県君津市内場外	進入中、第2エンジンの滑油圧力の低下を示すライト点灯したが、そのまま着陸した。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA894A	成田国際空港	バンコク	地上担当者の確認不足により、未承認の危険物を輸送したことが判明した。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA891A	デュッセルドルフ	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA612A	ホーチミン	成田国際空港	地上走行中、急なブレーキ操作となり客室乗務員が転倒し負傷した。	航空事故
6/7	エクセル航空	ユーロコプター式AS350B3型	JA350D	那覇空港	粟国空港	飛行中、那覇空港北西海域で墜落した。	航空事故
6/8	バニラ・エア	エアバスA320-214型	JA08VA	成田国際空港	台北(桃園)	誤った自動操縦装置の選択により、進入中、フラップの運用限界速度を超過した。	
6/8	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	大阪国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/8	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA245J	大阪国際空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/9	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA133A	広島空港	東京国際空港	ギャレー内の安全確認終了後、コンテナを再度開閉したがロックが不十分であったため、離陸時、ギャレーのコンテナが飛び出した。	
6/9	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	広島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/9	中日本航空	エアバスヘリコプター式EC135P2+型	JA118D	北海道三笠市内場外	北海道札幌市内場外	ドクターヘリで搬送した患者の手荷物内に危険物が含まれていたことが判明した。	
6/10	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA812P	関西国際空港	仙台空港	飛行中、第1エンジンの滑油量が低下したことを示す計器表示があったため、同エンジンを停止し、緊急着陸した。	イレギュラー運航
6/11	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA55AN	長崎空港	那覇空港	離陸時、鳥衝突により第1エンジンの振動値が上昇したことから目的地を変更した。	イレギュラー運航
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	鹿児島空港	東京国際空港	社内貨物の確認に不足があったことから、必要な申告をせずに危険物を輸送していたことが判明した。	
6/11	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA620A	成都	成田国際空港	飛行中、自動操縦装置の操作を失念したことから管制指示経路を逸脱した。	
6/12	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-211型	JA8313	鳥取空港	東京国際空港	降下中、機長席の背もたれの調整機能が不動作となった。	
6/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA301J	那覇空港	東京国際空港	降下中、最低経路高度を失念していたことから逸脱した。	
6/12	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	新千歳空港	社内調査の結果、計器の一部に基準上で認められていない組み合わせで部品が取り付けられていることが判明した。	
6/12	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	旭川空港	降下中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/12	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA304K	那覇空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	シカゴ	東京国際空港	降下中、他の操作に追われ、気圧高度設定値の変更操作が遅れたことから管制指示高度を逸脱した。	
6/12	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA02FJ	花巻空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	中部国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/14	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	宮古空港	那覇空港	着陸許可を受けて進入中、他の航空機が滑走路に進入したため、進入を中止した。	重大インシデント
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
6/15	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA804P	香港	関西国際空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8670	東京国際空港	熊本空港	社内調査の結果、客室酸素マスクの点検後、一部に復旧忘れがあったことが判明した。	
6/15	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA300K			装備品整備中、航空機用救命無線機の電波が発出されない不具合が発見された。	
6/16	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	ホノルル	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA806X	那覇空港	神戸空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA79AN	新千歳空港	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA829A	上海(浦東)	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	日本航空	ボーイング式777-300型	JA751J	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/17	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA11JJ			機内飲料水の不具合を持ち越すにあたり、その他必要とされる運用許容基準を適用せずに運航したことが判明した。	
6/18	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA737J	東京国際空港	パリ	飛行中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯した。	
6/18	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA708A	東京国際空港	長崎空港	到着後、主脚タイヤの全周にわたり割れていることが発見された。	
6/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	成田国際空港	シンガポール	空輸にあたり、誤って救急用具を降ろしてしまったことから、未搭載で運航していたことが判明した。	
6/18	日本航空					社内調査の結果、定期訓練において合格と誤判定された客室乗務員が乗務していたことが判明した。	
6/19	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	東京国際空港	長崎空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	鹿児島空港	大阪国際空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
6/19	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA808P	関西国際空港	鹿児島空港	着陸復行中、管制指示高度を失念したことから逸脱するとともにフラップの運用限界速度を超過した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA13JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA05JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA08JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA09JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA10JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA16JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA17JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA18JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/19	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JJ			社内調査の結果、最新の耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
6/20	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ			社内調査の結果、フラップ機構への給油が製造者の指示する内容と異なっていたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/20	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	ロンドン	東京国際空港	荷主が当該危険物を別の通常貨物に誤混入させたため、必要な危険物申告を行うことなく輸送したことが判明した。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA744A			装備品整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
6/21	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	新千歳空港	釧路空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/21	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674			定時整備中、客室内の酸素マスクが落下しないことが判明した。	
6/22	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	那覇空港	中部国際空港	飛行中、急激な大気擾乱により、一時的に管制指示高度を逸脱した。	
6/22	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	東京国際空港	佐賀空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	福岡空港	名古屋飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN			社内調査の結果、部品の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
6/23	パナシエ・エア	エアバス式A320-214型	JA06VA	新千歳空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/23	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA823A	ブリュッセル	成田国際空港	飛行中、機長席側(左側)前方の操縦室窓にひび割れが発生したため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
6/23	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	コナ	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/23	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	福江空港	長崎空港	到着後、左側プロペラの整流部品の一部欠損が発見された。	
6/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認不足により、未承認の危険物を輸送したことが判明した。	
6/24	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA781A	成田国際空港	ヒューストン	飛行実施計画の確認に不足があったことから、一部の区間の経路に抜けがあったことが判明した。	
6/24	エアアジア・ジャパン	エアバス式A320-216型	JA01DJ	新千歳空港	中部国際空港	乗客が座席を移動した結果、不正確な重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
6/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J	東京国際空港	中部国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/24	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8944	新千歳空港	東京国際空港	飛行中、機体が動揺した際、客室乗務員1名が負傷した。	航空事故
6/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA332J	北九州空港	東京国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第1エンジンのファンブレード等の損傷を発見した。	
6/25	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	新千歳空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	東京国際空港	鹿児島空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674			定時整備中、胴体の前脚格納室の構造部に腐食が発見された。	
6/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NR	東京国際空港	那覇空港	前日実施した不具合修復作業時の客室酸素マスクの一部復旧忘れが発見された。	
6/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ			整備委託先において、非常用脱出装置の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
6/26	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA805P			定時整備中、胴体上部のアンテナの一部欠損が発見された。	
6/26	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA876A	東京国際空港	パリ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/26	日本航空	ボーイング式777-200型	JA008D			整備委託先において、無線装置の一部に製造者が認めていない部品が使用されていたことが判明した。	
6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	東京国際空港	鹿児島空港	飛行中、機内の与圧が低下したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	東京国際空港	鹿児島空港	飛行中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
6/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ			整備委託先において、非常用脱出装置の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
6/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA09JJ			整備委託先において、非常用脱出装置の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
6/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA13JJ			整備委託先において、非常用脱出装置の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
6/27	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA211J	松山空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	宮崎空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8569	東京国際空港	小松飛行場	悪天候への対応に追われる中、乗務員間の機体姿勢に関する相互確認も不十分であったことから、着陸時、テールスキッドを滑走路に接触させた。	
6/27	パナシエ・エア	エアバス式A320-214型	JA08VA	高雄	成田国際空港	進入中、悪天候のため、手動にて操縦していたが、業務負荷の増加によりフラップの運用限界速度を超過した。	
6/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA11FJ	出雲空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/27	日本航空	ボーイング式787-8型	JA823J	上海(浦東)	成田国際空港	ウィンドシアアからの回避操作中、計器の確認に不足があったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
6/27	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA827A	ブリュッセル	成田国際空港	機体特性の理解不足に加え、不適切な操作があったことから、進入中、フラップの運用限界速度を超過した。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/27	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA22JJ	中部国際空港	関西国際空港	着陸時、強風の影響を受けたことから、加速度の運用限界値を超過した。	
6/28	ジェイエア	エンブラエルERJ190-100STD型	JA244J	仙台空港	大阪国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンのファンブレード等の損傷を発見した。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA810A	函館空港	東京国際空港	降下中、第1エンジンに振動が上昇したことを示す計器表示があったため、同エンジンを停止した上で着陸した。	イレギュラー運航
6/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	グアム	グアム	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA879A	シンガポール	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/30	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA23MC	北九州空港	東京国際空港	離陸前、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	新千歳空港	福岡空港	保安検査場の爆発物検査装置での手荷物のつまりにより、正確に検査が行われず、機内に無申告危険物が持ち込まれていることが判明した。	
6/30	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA23MC	北九州空港	東京国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/2	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA20MC	北九州空港	東京国際空港	飛行中、副操縦士が一時的に体調不良となった。	
7/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	中部国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	新潟空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/5	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA23MC	関西国際空港	東京国際空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/5	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA001C	鹿児島空港	福岡空港	地上担当者が貨物個数を誤入力したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
7/6	日本航空	ボーイング式787-8型	JA826J	バンクーバー	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA349J	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/6	ディーエイチシー	川崎BK117B-2型	JA6651	東京ヘリポート	東京ヘリポート	定時整備中、テールスキッドに変形が発見された。	
7/7	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA23MC	福岡空港	中部国際空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/7	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA878A	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
7/7	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-211型	JA8654	東京国際空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/7	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA23MC	東京国際空港	北九州空港	不具合修復に関わる整備記録が、適切に処理されていないことが判明した。	
7/8	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA858A	福岡空港	対馬空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	東京国際空港	高松空港	整備委託先において、非常用脱出装置の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
7/8	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8999	那覇空港	富古空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	那覇空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/9	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA307K	福岡空港	対馬空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/9	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	サンフランシスコ	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/10	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	東京国際空港	旭川空港	飛行中、第2(右側)燃料タンクの燃料油量計の表示が一時的に非表示となった。	
7/10	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA20JJ	福岡空港	成田国際空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/10	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA20JJ	成田国際空港	那覇空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/10	ジェイエア	エンブラエルERJ190-100STD型	JA253J	福岡空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/10	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA803X			整備委託先において、部品交換の際に不適切な処置があったことが判明した。	
7/10	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	上海(浦東)	成田国際空港	社内調査の結果、脚のサービシングにおいて当該部位と異なる部位の手順書に従い処置されていたことが判明した。	
7/11	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	旭川空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/11	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	旭川空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/11	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	旭川空港	東京国際空港	飛行中、第2(右側)燃料タンクの燃料油量計の表示が一時的に非表示となった。	
7/12	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA815P	福岡空港	新千歳空港	地上担当者が、受託手荷物搭載位置を思い込みにより違う位置に搭載した結果、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA884A	成田国際空港	ホノルル	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA753A	東京国際空港	松山空港	降下中、他の操作に気を取られ確認が不十分だったことから、管制指示高度を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/13	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA801P	関西国際空港	宮崎空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/13	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA895A	東京国際空港	シンガポール	到着後の点検にて、第2エンジンの整流板等が鳥衝突により損傷していることが発見された。	
7/14	ソランドエア	ボーイング式737-800型	JA806X	東京国際空港	熊本空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	東京国際空港	那覇空港	飛行前点検中、補助翼の操舵が円滑でなかった。	
7/14	日本航空	ボーイング式777-200型	JA008D	那覇空港	東京国際空港	機内持ち込みの予定だった危険物が確認不足により貨物室に搭載されたことから、必要な申告をせずに危険物を輸送したことが判明した。	
7/14	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA736J	成田国際空港	シカゴ	降下中、一時的に降下経路信号の受信不良となったことから管制指示高度を逸脱した。	
7/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	庄内空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	福岡空港	東京国際空港	到着後、右主翼の高揚力装置(フラップ)に一部欠損が発見された。	
7/15	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	大阪国際空港	宮崎空港	着陸復行時、機体姿勢の把握に不足があったことから、テールスキッドを滑走路に接触させた。	
7/16	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA877A	東京国際空港	パリ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/17	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA02FJ			社内調査の結果、ブレーキ交換作業の際、部品を取り付けていないことが判明した。	
7/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	新石垣空港	那覇空港	最新版でない作業指示書に従い貨物を搭載したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
7/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	東京国際空港	那覇空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8995			定時整備中、胴体の構造部に亀裂が発見された。	
7/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8579	東京国際空港	熊本空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/20	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA03VA	成田国際空港	奄美空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/20	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA20MC	東京国際空港	北九州空港	離陸時、脚が正常に上がらないことが判明した。	
7/21	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA05JC	大阪国際空港	但馬飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/21	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA21JJ	香港	成田国際空港	飛行管理装置へ誤入力したことから、上昇中、管制指示経路を逸脱した。	
7/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA212J	山形空港	大阪国際空港	着陸後、第2エンジンの排気ガス温度が上昇したことを示す計器表示があった。	
7/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA227J	大阪国際空港	松山空港	副操縦士に必要な経験要件を満足しないまま業務に従事したことが判明した。	
7/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8342	大分空港	大阪国際空港	目的地変更により当初の目的地で降ろされるはずの貨物が降ろされなかったことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
7/23	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	新千歳空港	東京国際空港	上昇中、燃料油量計に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA343J	大阪国際空港	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便では無申告で輸送していたことが判明した。	
7/24	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	大阪国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	福岡空港	東京国際空港	他機への通信を自機への指示と錯覚したことから、降下中、管制指示高度を逸脱した。	
7/24	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA83AN			社内調査の結果、不具合修復作業の際、本来取り付けるべき部品を取り付けていないことが判明した。	
7/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA314J	グアム	グアム	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA349J	北九州空港	東京国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第1エンジンのファンブレード等の損傷を発見した。	
7/25	日本航空	ボーイング式787-8型	JA832J	バンクーバー	成田国際空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/25	岡山航空	セスナ式172R型	JA10AZ	岡南飛行場	岡南飛行場	進入中、鳥衝突により右主翼に損傷を受けた。	航空事故
7/26	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA803P	仙台空港	関西国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/26	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA22JJ	高松空港	成田国際空港	社内調査の結果、運航中に発生した不具合に対して、適切な整備処置が実施されていないことが判明した。	
7/26	新日本ヘリコプター	ベル式206L-3型	JA9845			定時整備中、テールブームに摩耗が発見された。	
7/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8342			定時整備中、胴体の客室扉開口部に腐食が発見された。	
7/27	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA11VA	台北(桃園)	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA657J	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/27	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA805X	長崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/27	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA15VA	新石垣空港	那覇空港	対地接近警報装置の設定を誤ったため、進入中に同装置が誤作動した。	
7/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA813P	福岡空港	関西国際空港	定時整備中、第2エンジンの空気取入口内壁に損傷が発見された。	
7/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	大分空港	東京国際空港	飛行中、3つのうち1つの油圧システムの作動油量が低下したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
7/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA246J	鹿児島空港	大阪国際空港	地上担当者が旅客内訳の登録が遅れたことから登録が反映されておらず、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
7/30	日本航空	ボーイング式787-9型	JA867J	成田国際空港	シドニー	スケジュール変更に関わる勤務時間調整を行わなかったため、乗務時間制限を超過したことが判明した。	
7/30	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA215J	山形空港	大阪国際空港	着陸後、第2エンジンの排気ガス温度が上昇したことを示す計器表示があった。	
7/31	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA300K	鹿児島空港	大阪国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	大分空港	大阪国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/31	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA212A	瀋陽	成田国際空港	着陸前の業務量の増加により、飛行管理装置への経路入力を失念したことから、降下中、管制指示高度を逸脱した。	
7/31	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA08JJ			社内調査の結果、エンジン点火系統の部品の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
7/31	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ	福岡空港	静岡空港	地上担当者が誤った旅客内訳の登録をしたことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
7/31	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA603A	成田国際空港	那覇空港	地上担当者が誤った搭載位置で搭載指示書を作成したことから、危険物の搭載位置が誤っていたことが判明した。	
8/1	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	那覇空港	新石垣空港	離陸後、航海用の計器画面が一時的に非表示となった。	
8/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ			社内調査の結果、部品交換の際、手順を補足する技術資料に従っていなかったことが判明した。	
8/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ			社内調査の結果、客室内の部品交換作業の際、整備記録に適切に記録されていないことが判明した。	
8/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA894A	東京国際空港	北京	エンジンの不具合を示す計器表示の為、本来、警報装置に対する運用許容基準を適用するところ、誤って検知器に対する運用許容基準を適用していたことが判明した。	
8/2	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA03AN			装備品整備中、航空機用救命無線機の電波が発出されない不具合が発見された。	
8/2	新中央航空	ルーク式Dornier228-212型	JA34CA	調布飛行場	新島空港	飛行中、右エンジンの回転数が運用限界の下限を下回った。	イレギュラー運航
8/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA55AN	富山空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8567	鹿児島空港	東京国際空港	到着後、左主翼の高揚力装置(フラップ)に一部欠損が発見された。	
8/2	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA09VA	台北(桃園)	関西国際空港	進入中、計器の確認に不足があったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
8/2	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/3	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA227J	大阪国際空港	山形空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/5	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	新千歳空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/5	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA11VA	那覇空港	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/5	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	静岡空港	福岡空港	地上担当者が貨物個数を誤入力したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
8/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A			定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
8/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	福岡空港	東京国際空港	社内調査の結果、整備作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
8/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
8/8	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	大阪国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	東京国際空港	高知空港	到着後、第2エンジンの空気取入口の消音材に一部欠損が発見された。	
8/8	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	仙台空港	中部国際空港	乗客が座席を移動した結果、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
8/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	新千歳空港	百里飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/10	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA805P	関西国際空港	釧路空港	離陸後、抽気系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
8/10	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA802A	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
8/10	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ			社内調査の結果、エンジン点火系統の一部に誤った部品が使用されていることが判明した。	
8/10	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA133A	東京国際空港	石見空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/11	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA704A	東京国際空港	高知空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/11	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA807X			定時整備中、機体外部の非常用照明灯が点灯しなかった。	
8/12	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	大阪国際空港	熊本空港	地上走行中、聞き間違えと確認不足により、管制許可を受けずに滑走路の横断を開始した。	
8/12	全日本空輸	E7バス式A321-272N型	JA132A	東京国際空港	石見空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/12	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN			整備委託先において、部品の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
8/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994	関西国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に無申告危険物が持ち込まれた。	
8/13	東邦航空	川崎BK117C-2型	JA173B	東京ヘリポート	東京ヘリポート	耐空証明検査において非常信号灯の点検期限が超過していたことが判明した。	
8/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	神戸空港	新千歳空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/14	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA829A			定時整備中、右主翼後縁の構造部に亀裂が発見された。	
8/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT			社内調査の結果、整備作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
8/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	岡山空港	東京国際空港	運航便の遅れによるタイムプレッシャーから、スイッチの確認に不足があり、飛行中、左右の燃料タンクの燃料量の差に関する運用限界を超過した。	
8/14	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	女満別空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/14	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	新千歳空港	東京国際空港	社内調査の結果、貨物室内の内張の不具合に対して、適切な整備処置が行われていないことが判明した。	
8/14	Peach Aviation	E7バス式A320-214型	JA808P			定時整備の点検で、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
8/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、防水携帯灯が不作為であることを発見した。	
8/15	Peach Aviation	E7バス式A320-214型	JA801P	那覇空港	ソウル(仁川)	飛行中、化粧室内の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/15	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA06MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	福岡空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669			定時整備中、胴体の非常扉開口部に腐食が発見された。	
8/16	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ			耐空証明検査において航空交通管制用自動応答装置の点検期限が超過していたことが判明した。	
8/16	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA14JJ	成田国際空港	那覇空港	管制通話に気を取られ、脚の操作を失念したことから、上昇中、脚格納時の運用限界速度を超過した。	
8/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA08KZ			耐空証明検査において航空交通管制用自動応答装置の点検期限が超過していたことが判明した。	
8/18	全日本空輸	E7バス式A321-272N型	JA134A	東京国際空港	石見空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/18	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN			社内調査の結果、部品の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
8/19	全日本空輸	E7バス・インダストリー式A320-211型	JA8946			定時整備中、右主翼上面の外皮に腐食が発見された。	
8/19	バニラ・エア	E7バス式A320-214型	JA09VA	新石垣空港	那覇空港	貨物の搭載位置を思い込みにより誤った結果、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
8/20	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	上海(浦東)	成田国際空港	着陸時、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/20	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA706A	東京国際空港	山口宇都空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/20	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA211J	宮崎空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA327J	宮崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/21	東邦航空	シコルスキー式S-76C型	JA769B	東京都御蔵島村内場外	八丈島空港	飛行中、発電機に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
8/22	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA810A			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA324J	三沢飛行場	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
8/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	香港	定時整備中、貨物室ドアの操作盤に製造者が認めていないスイッチが使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
8/22	朝日航洋	ユーロコプター式AS350B3型	JA6507	東京ヘリポート	東京ヘリポート	緊急着陸の訓練中、主回転翼の回転数を適切に維持出来なかったことから、運用限界を超過した。	
8/22	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK	那覇空港	福岡空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/23	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA806X	那覇空港	神戸空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8567	庄内空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/23	日本航空	ボーイング式777-200型	JA009D			整備作業の中に、製造者の手順と異なる作業がされていたことが判明した。	
8/24	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ	成田国際空港	小松飛行場	地上走行中、前脚から異音が発生した。	
8/24	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA248J	山形空港	東京国際空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンのファンブレード等の損傷を発見した。	
8/24	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA81AN	新千歳空港	関西国際空港	着陸滑走路の確認に不足があったことから、降下中、管制指示経路を逸脱した。	
8/25	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA61AN	大阪国際空港	宮崎空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA801P	那覇空港	関西国際空港	降下中、化粧室内の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/25	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	奄美空港	那覇空港	出発前、機内放送装置に不具合があることを示すライトが点灯した。	
8/26	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA76AN	那覇空港	岩国飛行場	着陸時の確認に不足があったことから、管制的許可を受けずに着陸した。	
8/26	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	仙台空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ			整備委託先において、エンジンの燃料噴射の部品の一部に再使用できない部品を再使用していたことが判明した。	
8/27	バニラエア	エアバス式A320-214型	JA14VA	関西国際空港	奄美空港	飛行中、機体が動揺した際、客室乗務員1名が負傷した。	航空事故
8/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	那覇空港	東京国際空港	定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/28	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA05JC	大阪国際空港	但馬飛行場	離陸後、第2(右側)プロペラの制御系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
8/28	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA72AN	福岡空港	那覇空港	乗務員間の状況の共有に不足が有り、業務量が増加したことから、進入中、管制指示高度を失念し、逸脱した。	
8/29	日本航空	ボーイング式737-800型	JA349J	広島空港	新千歳空港	進入中、機内通話システムに不作為となった。	
8/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	那覇空港	東京国際空港	定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/29	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA02HC	札幌飛行場	釧路空港	客室内の引き出しのロックを確認する際、押し込み不足により、正規にロックがかからなかったことから、上昇中、引き出しが半ばまで展開した。	
8/29	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA603A	天津	関西国際空港	急激な乱気流により機体姿勢が通常と異なる中、計器の読み取りに不足があったことから、離陸時、テールスキッドを滑走路に接触させた。	
8/31	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA823A			定時整備中、非常用脱出装置を膨らますためのボルトの圧力が低下していることが発見された。	
8/31	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	大阪国際空港	秋田空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA08JJ	那覇空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	鹿児島空港	東京国際空港	到着後、左主翼の高揚力装置(フラップ)に一部欠損が発見された。	
9/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	香港	成田国際空港	整備委託先において、作業後に部品の取り付け忘れがあったことが判明した。	
9/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA834A	成田国際空港	バンコク	地上担当者の確認不足により、未承認の危険物を輸送したことが判明した。	
9/4	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J	成田国際空港	ホノルル	進入中、高揚力装置(フラップ)に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	百里飛行場	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA612J	大阪国際空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/5	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA62AN	成田国際空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/5	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA707A	東京国際空港	福岡空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/6	岡山航空	セスナ式T206H型	JA35DR	那覇空港	岡南飛行場	離陸時、十分な推力を得られなかったことから引き返した。	イレギュラー運航
9/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA707J	中部国際空港	ホノルル	乗客が落としたライターが、座席機構に挟まり着火し、座席を焦がした。	
9/6	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	佐賀空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8985	大阪国際空港	成田国際空港	整備作業の中に、製造者の手順と異なる構造修理がされていたことが判明した。	
9/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA652J	那覇空港	成田国際空港	スケジュール変更に関わる勤務時間調整を行わなかったため、乗務時間制限を超過したことが判明した。	
9/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC			定時整備中、乗客用座席のカバーに製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
9/7	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA717A	東京国際空港	松山空港	飛行中、エンジンの回転数が一時的に低下した。	イレギュラー運航
9/7	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA69AN	東京国際空港	大分空港	天候不良と航路混雑による降下進入中、誤った認識により、フラップの運用限界高度を超過した。	
9/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA604A	広島空港	那覇空港	飛行中、一時的な大気の擾乱により管制指示高度を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA805A	上海(浦東)	成田国際空港	上昇中高度換算表を読み違えたことから、管制指示高度を逸脱した。	
9/8	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	大阪国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/10	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA241J	大阪国際空港	仙台空港	社内調査の結果、フラップ機構の不具合修復作業の際、製造者が指定した用具を使用せずに作業していたことが判明した。	
9/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	大阪国際空港	青森空港	着陸復行時、天候の急変によりスイッチ操作を失念したことから、対地接近装置が作動した。	
9/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8971	東京国際空港	鹿児島空港	離陸時、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/11	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8977	那覇空港	東京国際空港	出発後、前便にて取り降ろす予定の酸素ボトルを取り下ろさなかったことから無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
9/12	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8323	成田国際空港	大連	貨物室の貨物ロックの不具合の処置を申し送ったが、急速、運航機材が変更となったため、本来適用すべき運用許容基準を適用せずに運航させた。	
9/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	新千歳空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA09MC	北九州空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/14	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA09MC	東京国際空港	福岡空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/14	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA09MC	福岡空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/14	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA09MC	中部国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/14	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	中部国際空港	大分空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/15	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	那覇空港	岩国飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/15	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA12FJ	名古屋飛行場	青森空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/15	西日本空輸	E7ハス・ヘリコプターズ式AS350B3型	JA019W			社内調査の結果、テールブームの取付ボルトに対する点検期限が超過していることが判明した。	
9/15	パニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA07VA	成田国際空港	那覇空港	降下中、乗務員間で管制指示高度に疑義が生じ、確認に注視したため、高度を逸脱した。	
9/17	日本航空	ボーイング式777-200型	JA008D			定時整備中、右主翼の構造部に亀裂が発見された。	
9/17	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	大阪国際空港	松山空港	出発前、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
9/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA612J	小松飛行場	東京国際空港	到着後、主脚のタイヤが部分的に剥がれていることが発見された。	
9/17	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA812P	関西国際空港	成田国際空港	旅客システムの変更により、仮予約データを変更した際、警告が出なくなっていたことから、大人、子供の種別が正しく反映されず、結果、誤った重量・重心位置データに基づいて運航したことが判明した。	
9/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	那覇空港	到着後、右主翼の高揚力装置(フラップ)に一部欠損が発見された。	
9/19	九州航空					運航乗務員が、指定医へ虚偽の申告をしていたことから、航空身体検査証明の条件を満足せず乗務していたことが判明した。	
9/20	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA359K	鹿児島空港	大阪国際空港	到着後、前方乗降用扉が途中で引っかかり開けることが出来なかった。	
9/20	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA808P			定時整備の点検で、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
9/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA07MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA873A	パリ	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA63AN	函館空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/20	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA16JJ			社内調査の結果、エンジン点火系統の一部に誤った部品が使用されていることが判明した。	
9/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK			特別整備において、操縦室の操作パネルに製造者が認めていない部品が取り付けられていたことが判明した。	
9/21	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA07MC			定時整備における点検を行ったところ、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
9/23	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	小松飛行場	福岡空港	飛行中、3つのうち1つの油圧系統の作動油圧が低下したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
9/24	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA85AN	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NR	那覇空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/25	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA734A	東京国際空港	フランクフルト	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ			定時整備中、客室内非常用照明灯のバッテリーの不具合を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/26	スターフライヤー					健康管理担当者の確認不足により、航空身体検査不適合な状態で、業務に従事したことが判明した。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	福岡空港	東京国際空港	整備委託先において、アクセスドアの部品交換の際、製造者が使用禁止にしている部品が使用されていたことが判明した。	
9/27	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA72AN	東京国際空港	大分空港	飛行管理装置への経路入力を誤ったことから、飛行中、管制指示経路を逸脱した。	
9/28	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA54AN	中部国際空港	宮崎空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975			定時整備中、左主翼上面の外皮に腐食が発見された。	
9/29	パナシエ	エアバス式A320-214型	JA02VA	セブ	成田国際空港	客室乗務員による飛行前の点検中、客室内拡声器の音が時々不明瞭であることを発見した。	
9/29	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	東京国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA804A	バンコク	成田国際空港	運航支援者からの連絡に不足があり、出発後、運航要件に必要な整備作業が未実施であることが判明したため途中で運航要件を変更した。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA623A			定時整備中、主翼下面の外皮に亀裂が発見された。	
9/30	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	中部国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/30	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA462A	仙台空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/30	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8569	東京国際空港	福岡空港	急激な天候の変化により計器の把握に不足があったことから、進入中、フラップの運用限界高度を超過した。	
10/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA12JJ	福岡空港	成田国際空港	着陸後、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA06JJ	成田国際空港	福岡空港	進入中、自動着陸装置に不具合があったことを示す計器表示があった。	
10/1	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B			社内調査の結果、整備作業に定めた同時に行うべき作業を実施していなかったことが判明した。	
10/1	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B			社内調査の結果、整備作業に定めた同時に行うべき作業を実施していなかったことが判明した。	
10/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA623A			定時整備中、右主翼下面の外皮に亀裂が発見された。	
10/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA706A	大阪国際空港	東京国際空港	到着後、主脚タイヤの全周にわたり割れていることが発見された。	イレギュラー運航
10/3	四国航空	ユーロコプター式AS350B3型	JA6511	高知空港	高知空港	飛行中、滑油温度が上昇したことから引き返した。	イレギュラー運航
10/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A	函館空港	新千歳空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	成田国際空港	社内調査の結果、主翼に取り付けアクセスパネルの部品の一部に製造者が認めていない部品が取り付けられていることが判明した。	
10/3	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA810P	関西国際空港	宮崎空港	飛行中、気象レーダーに不具合があったことを示す計器表示があった。	
10/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	成田国際空港	飛行中、ラダートリムに不具合が発生した。	
10/4	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA300K	福岡空港	対馬空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/4	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	熊本空港	大阪国際空港	着陸前の確認が不十分であったことから、着陸後、ギャレーのカートが飛び出した。	
10/4	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA874A	香港	東京国際空港	飛行中、登録データに誤りがあり、また確認が不足したことから、誤った飛行実施計画で運航したことが判明した。	
10/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA315J	上海(浦東)	関西国際空港	地上担当者が貨物重量値を誤入力したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
10/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ			特別整備中、フラップの構成品の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
10/4	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN			整備委託先において、部品の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
10/5	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA52AN	中部国際空港	新千歳空港	到着後、前方乗降用扉が途中で引っかかり開けることが出来なかった。	
10/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA828J	バンコク	成田国際空港	飛行中、副操縦士席側(右側)前方の操縦室窓にひび割れが発生した。	
10/5	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA137A	東京国際空港	徳島飛行場	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/6	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA51AN	東京国際空港	福岡空港	悪天候による復行中、揺れにより計器が正確に読み取れず、過度な機首上げ操作を行った。	
10/7	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA134A	神戸空港	東京国際空港	飛行中、抽気が漏れていることを示す計器表示があった。	
10/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA212J	大阪国際空港	大分空港	着陸後、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を越えたことを示す計器表示があった。	
10/8	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J	新千歳空港	大阪国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/8	全日本空輸	エアバス式A321-211型	JA114A	岡山空港	東京国際空港	着陸前の確認が不十分であったことから、着陸時、ギャレーのコンテナが飛び出した。	
10/9	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	熊本空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/9	日本航空	ボーイング式787-8型	JA824J	ホノルル	関西国際空港	到着後、貨物室の旅客手荷物から地上担当者の電源の切られていない携帯電話が発見された。	
10/9	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN			整備委託先において、部品の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
10/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ			社内調査の結果、乗客用座席に製造者が認めていないベルトが取り付けられていたことが判明した。	
10/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	神戸空港	那覇空港	到着後、保安検査場での確認が不足したことから、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
10/12	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA778A	ワシントン	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/12	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	旭川空港	東京国際空港	社内調査の結果、必要な手続きが行われていない装備品が装着していたことが判明した。	
10/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	東京国際空港	那覇空港	出発準備中、客室内の防水携帯灯が不動作であることを発見した。	
10/12	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA804P	那覇空港	関西国際空港	降下中、気流の影響で徐々に減速したことから、増速操作を行ったところ、管制指示高度を逸脱した。	
10/13	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA01VA	成田国際空港	新千歳空港	着陸時、接地直前にスラストリバーサーの展開操作が行われた。	
10/13	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	東京国際空港	小松飛行場	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/14	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA10VA	成田国際空港	台北(桃園)	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/14	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認不足により、未承認の危険物を輸送したことが判明した。	
10/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	那覇空港	新石垣空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/15	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	函館空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/15	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA708A	新千歳空港	大阪国際空港	運航整備中、非常用脱出装置を膨らますためのボルの圧力が低下していることが発見された。	
10/16	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA815P	新千歳空港	仙台空港	離陸滑走中、他の航空機が滑走路に進入したことから離陸を中止した。	
10/17	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA13VA	那覇空港	成田国際空港	地上担当者の誤った認識により運用許容基準を誤適用した。	
10/17	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	宮崎空港	那覇空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/17	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA13VA	新石垣空港	那覇空港	エンジン始動後、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため駐機場に引き返した。	
10/17	日本航空	ボーイング式787-9型	JA869J	デリー	成田国際空港	航路上の緊急着陸用空港に選定してはいけない空港を設定していたことが判明した。	
10/17	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA01AN			整備委託先において、部品の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
10/17	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA13VA	新石垣空港	那覇空港	地上担当者の誤った認識により運用許容基準を誤適用した。	
10/18	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA06GR	成田国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/18	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC			装備品整備中、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
10/19	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC	東京国際空港	山口宇部空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/19	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN			社内調査の結果、部品の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
10/19	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	広島空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669			定時整備中、貨物室内の構造部に亀裂が発見された。	
10/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	東京国際空港	那覇空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
10/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA01RK	東京国際空港	宮古空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に無申告危険物が持ち込まれた。	
10/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA25MC	東京国際空港	北九州空港	到着後の点検で、鳥衝突により第2エンジンの集音材が損傷した。	
10/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	東京国際空港	北九州空港	到着後の点検で、鳥衝突により第1エンジンの集音材が損傷した。	
10/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA241J	福岡空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669			定時整備中、左パイロンの構造部に亀裂が発見された。	
10/24	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	福岡空港	小松飛行場	給水の制約があった便で地上担当者が飲料水を誤って給水したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
10/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA817P			装備品整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
10/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669			装備品整備中、航空機用救命無線機の電波が発出されない不具合が発見された。	
10/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA614A	東京国際空港	佐賀空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/26	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA806P	福岡空港	成田国際空港	上昇中、指示高度を誤認したことから、管制指示高度を逸脱した。	
10/26	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA12JJ	関西国際空港	香港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/26	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA05JJ	中部国際空港		社内調査の結果、実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
10/27	岡山航空	セナ式510型	JA123F	岡南飛行場	東京国際空港	着陸進入中、他機が滑走路に誤進入したことから、管制指示により復行した。	
10/28	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	東京国際空港	熊本空港	復行時、対地接近装置が作動した。	
10/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA623A	成田国際空港	ヤンゴン	整備委託先において、部品の取り付け方向に不備があったことが判明した。	
10/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	福岡空港	百里飛行場	着陸時、両エンジンの逆推力装置を展開した後、逆推力を増加させることが出来なかった。	
10/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	東京国際空港	大阪国際空港	運航前、高度入力を失念したことから、降下中、管制指示高度制限を逸脱した。	
10/31	ファーストエアートランスポート	シコルスキー式S-76C型	JA12CJ	東京ヘリポート	静岡ヘリポート	運航前、必要な確認を怠ったことから、飛行中、有効な法定書類を搭載せずに運航したことが判明した。	
11/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA349J	東京国際空港	大分空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA606A	東京国際空港	広島空港	進入中、必要なスイッチ操作を失念したことから、対地接近装置が作動した。	
11/1	バニラ・エア	エアバスA320-214型	JA13VA			運航整備中、過去に実施した非常用脱出装置の取り付け作業に誤りがあったことが判明した。	
11/1	バニラ・エア	エアバスA320-214型	JA07VA			社内調査の結果、過去に実施した非常用脱出装置の取り付け作業に誤りがあったことが判明した。	
11/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
11/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ			定時整備中、フラップの構成品の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
11/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8669			定時整備中、貨物室内の構造部に亀裂が発見された。	
11/4	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA26MC			特別整備中、座席の構成品の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
11/5	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	東京国際空港	新千歳空港	飛行中、機内放送システムに客室と操縦室間の通話が不通になる不具合が発生した。	
11/5	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA624A	東京国際空港	台北(松山)	担当者の誤った認識により、所定の復帰訓練・審査の一部を未了のまま、客室乗務を再開させた。	
11/5	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA69AN	函館空港	東京国際空港	地上担当者が貨物搭載数を誤入力したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
11/6	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA137A	東京国際空港	関西国際空港	着陸前の確認が不十分であったことから、着陸時、ギャレーのコンテナが飛び出した。	
11/7	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA133A	岡山空港	東京国際空港	離陸滑走中、第1エンジンに鳥が衝突したことから、離陸を中止した。	イレギュラー運航
11/7	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA735A	成田国際空港	シカゴ	地上担当者の、連絡の不備により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
11/8	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	福岡空港	宮崎空港	巡航中、機内の与圧が正常に加圧出来なかった。	
11/8	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	アムステルダム	ミラノ	社内調査の結果、操縦室内防護呼吸装置の交換時期を設定していなかったことから、交換期限を超過した。	
11/8	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA891A			社内調査の結果、製造者が指定する間隔で、滑油フィルターの交換が行われていないことが判明した。	
11/8	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA09MC			定時整備中、ラダーに水の浸入による損傷が発見された。	
11/9	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA138A	美保飛行場	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/9	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA805X			定例整備において、非常用の油圧ポンプが作動しなかった。	
11/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T			定時整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
11/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	福岡空港	仙台空港	社内調査の結果、適用資格のない整備従事者が運用許容基準を適用したことが判明した。	
11/10	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA733J			定時整備中、右主翼下面の外皮開口部に亀裂が発見された。	
11/10	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA801P	関西国際空港	香港	飛行中、化粧室内の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/11	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	旭川空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
11/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	神戸空港	百里飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/12	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA224J	花巻空港	新千歳空港	着陸後、第2エンジンを通常操作で停止することができなかった。	
11/13	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA82AN	福岡空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8579	東京国際空港	高松空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/13	日本航空	ボーイング式787-9型	JA869J	成田国際空港	上海(浦東)	地上走行中、管制指示を誤認したことから、滑走路手前での停止を怠った。	
11/14	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA820P	台北(桃園)	東京国際空港	着陸後、客室内酸素供給装置が一部外れた。	
11/15	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA04JC	鹿児島空港	種子島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/15	日本航空	ボーイング式767-300型	JA612J	大阪国際空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ			定時整備中、フラップの構成品の一部に製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
11/15	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ			定時整備中、乗客用酸素マスクの構成品に軽微な損傷が発見された。	
11/16	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA356K	那覇空港	新石垣空港	離陸時、鳥衝突により第2エンジンの振動値が上昇したことから引き返した。	イレギュラー運航
11/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA322J	東京国際空港	高松空港	高度入力する経路を誤って入力したため管制指示高度を逸脱した。	
11/17	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA70AN	鳥取空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA26MC	台北(桃園)	北九州空港	海外における整備委託後の運航において、確認会話不足により、領収検査が終わっていない状況で運航を開始した。	
11/18	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA830A	東京国際空港	高松空港	到着後の点検で、第1エンジンの整流板及び消音材が鳥衝突により損傷していることが発見された。	
11/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA858A	秋田空港	大阪国際空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	イレギュラー運航
11/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8677	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/19	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA03JC	奄美空港	徳之島空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/20	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	旭川空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/20	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	新千歳空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/21	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA21JJ			整備委託先において、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
11/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	那覇空港	東京国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			部品を調達する際の確認不足により、耐空証明検査において、製造者が認めていない部品が装備されていたことが判明した。	
11/22	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	東京国際空港	新石垣空港	運航検査において、非常用脱出口の経路標識に、製造者が認めていない部品が使用されていることが判明した。	
11/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	松山空港	大阪国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
11/23	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	東京国際空港	新石垣空港	出発前の機体電源を切り替えたところ、航空機救命無線機の作動を示すライトが点灯した。	
11/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8670	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	中部国際空港	松山空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
11/23	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA01RK	那覇空港	宮古空港	要件の確認に不足があり、飛行時間要件を満たさないまま運航を行った。	
11/24	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA300K	福岡空港	那覇空港	降下中、脚上げ操作を行ったところ右主脚の展開を示すライトが点灯しないことが判明した。	イレギュラー運航
11/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA606A	岡山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	長崎空港	神戸空港	地上担当者の確認不足により、旅客の内訳を誤ったことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
11/24	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	長崎空港	連続離着陸訓練中、他の操作遅れにより、高度に気を取られたことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
11/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	神戸空港	東京国際空港	エンジン始動前、エルロントリムを操作したところ、スムーズに動かなかった。	
11/26	フジドリームエアラインズ	エアバス式ERJ170-200STD型	JA05FJ	岡山空港	静岡空港	地上担当者の確認不足により、旅客の座席変更を適切に反映しなかったことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
11/26	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA627A	ホーチミン	成田国際空港	飛行中、機長側の速度検知器に不具合があったことを示す計器表示があった。	
11/27	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	広島空港	広島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
11/27	日本航空	ボーイング式787-8型	JA844J	シドニー	成田国際空港	到着後、電源の切られていない地上作業用携帯電話がコンテナ内で発見された。	
11/27	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J	北京	成田国際空港	到着後、電源の切られていない地上作業用携帯電話が貨物室で発見された。	
11/28	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA754A	新千歳空港	東京国際空港	到着後、主脚格納扉の修理として貼られたテープが欠損していた。	
11/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	宮古空港	那覇空港	要件の確認に不足があり、飛行時間要件を満たさないまま運航を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/28	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	釧路空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に無申告危険物が持ち込まれた。	
11/28	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC			定時整備中、機内ギャレーのアクセスパネルが取り付けしていないことが判明した。	
11/28	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	成田国際空港	武漢	機長が離席中、他機との接近から管制指示により降下の際、業務量が増加したため、確認不足があり、運用限界速度を超過した。	
11/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	那覇空港	中部国際空港	社内で推奨する手順に従わず、自動操縦装置の誤った認識により管制指示高度を逸脱した。	
11/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	那覇空港	福岡空港	飛行中、化粧室内の煙探知機の不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
11/30	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA74AN	東京国際空港	佐賀空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8995	那覇空港	新石垣空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/30	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B	対馬空港	長崎空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA652J	成田国際空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/1	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	東京国際空港	フランクフルト	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/1	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA835A	東京国際空港	ジャカルタ	復行中、操作と管制通信を優先したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
12/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	那覇空港	宮古空港	ブッシュバック中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA308J	東京国際空港	高松空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	新千歳空港	仙台空港	上昇中、指示高度を失念したことから、管制指示高度を逸脱した。	
12/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	大阪国際空港	高知空港	進入中、脚操作時に誤って、スイッチに触れてしまったことから、対地接近装置が作動した。	
12/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	神戸空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/3	日本航空	ボーイング式737-800型	JA340J	東京国際空港	高松空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA10JJ			定時整備中、客室内の非常用照明灯系統に不具合が発見された。	
12/4	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	関西国際空港	那覇空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/4	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA77AN	中部国際空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE			社内地上試験時、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/4	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	成田国際空港	フランクフルト	運航審査において、予備眼鏡が提示出来なかったことから、航空身体検査証明を満足しない状態で運航した。	
12/5	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA802P	関西国際空港	松山空港	降下中、計器の把握に不足があったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
12/5	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA01RK	福岡空港	那覇空港	到着後、非常用脱出装置の機体側接続部の片方が外れていることが発見された。	
12/5	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA89AN			運航中、乗客用座席のベルトに製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
12/5	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA09AN	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/5	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA790A	東京国際空港	フランクフルト	荷主が必要な申請を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
12/6	日本航空	ボーイング式777-200型	JA772J	東京国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC			定例整備中、客室内の酸素供給装置が展開しないことが判明した。	
12/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA623A	成田国際空港	台北(桃園)	地上担当者の確認不足により、未承認の危険物を輸送したことが判明した。	
12/8	日本航空	ボーイング式787-8型	JA845J	成田国際空港	バンコク	飛行中に高揚力装置が正常に動作しなかった。	イレギュラー運航
12/8	日本航空	ボーイング式767-300型	JA658J	東京国際空港	熊本空港	到着後の点検にて、鳥衝突による第2エンジンのファンブレードの変形を発見した。	
12/9	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA8323	成田国際空港	天津	上昇中、第1エンジンの滑油フィルターが詰まったことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
12/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	新千歳空港	神戸空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/9	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA22JJ			社内調査の結果、定例整備の点検期限が超過していたことが判明した。	
12/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	福岡空港	那覇空港	着陸時、両エンジンの逆推力装置を展開した後、第1エンジンの逆推力を増加させることが出来なかった。	
12/11	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA228J	山形空港	大阪国際空港	社内調査の結果、救命胴衣の点検期限が超過したことが判明した。	
12/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8980	東京国際空港	熊本空港	管制からの許可を誤認したことから、管制指示高度を超過した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/11	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA18JJ			社内調査の結果、耐空性改善通報によらず検査を行っていたことが判明した。	
12/12	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8993	那覇空港	新石垣空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/12	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA805P			定時整備中、客室内の酸素供給装置が展開しないことが判明した。	
12/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA834J	サンディエゴ	成田国際空港	到着後、地上作業用バゲージスキャナーがコンテナ内で発見された。	
12/13	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA23JJ			社内調査の結果、過去に実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
12/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	台北(桃園)	整備委託先において、部品交換時の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
12/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	台北(桃園)	整備委託先において、部品交換時の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
12/13	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA04GR	成田国際空港	成田国際空港	社内調査の結果、客室内の酸素マスクの収納手順に誤りがあったことが判明した。	
12/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	那覇空港	福岡空港	進入中、自動操縦装置を手動でオフにしたところ、通常鳴るはずの警報が鳴らなかった。	
12/14	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA26MC			運航整備中、後方貨物室内のレールの位置が異なることが発見された。調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
12/14	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA12VA	福岡空港	台北(桃園)	出発前、客室内の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	東京国際空港	広島空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に無申告危険物が持ち込まれた。	
12/15	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA26MC			定時整備中、客室内の非常用照明灯系統に不具合が発見された。	
12/16	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA26MC			出発前、非常用脱出報知器の警報が不動作であることを発見した。	
12/16	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA8323	台北(桃園)	成田国際空港	到着後の点検で、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードと集音材が損傷した。	
12/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK			定時整備における点検を行ったところ、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
12/17	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	新千歳空港	東京国際空港	社内調査の結果、操縦室内操作盤のスイッチに製造者が認めていない部品が使用されていたことが判明した。	
12/17	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA61AN	那覇空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/18	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC	奄美空港	徳之島空港	上昇中、計器の把握に不足があったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
12/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	福岡空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/20	全日本空輸	E7ハス式A321-272N型	JA135A	東京国際空港	鹿児島空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/21	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA707A	那覇空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA313J	東京国際空港	大分空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/21	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	新千歳空港	東京国際空港	離陸滑走中、他の航空機が滑走路に進入したことから離陸を中止した。	
12/21	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	アムステルダム	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
12/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	上海(浦東)		運航整備中、主脚格納室内の油圧系統の保持具に製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
12/24	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA02JJ	那覇空港	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/24	日本航空	ボーイング式777-200型	JA773J	東京国際空港	福岡空港	出発前の確認が不十分であったことから、離陸時、ギャレーのゴミ箱が飛び出した。	
12/25	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA02JJ	成田国際空港	福岡空港	地上走行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	神戸空港	百里飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/26	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA805X	東京国際空港	長崎空港	飛行中、対地接近警報装置の不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
12/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	那覇空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/26	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA08JJ			社内調査の結果、過去に実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
12/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT	東京国際空港	福岡空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
12/26	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA464A	中部国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/26	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA804P			定時整備の点検で、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
12/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港		運航整備中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/27	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	旭川空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	レギュラー運航

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/28	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	新千歳空港	青森空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/28	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8970	上海(浦東)	那覇空港	到着後、貨物室に預けられた手荷物から電源の切られていない携帯電話が発見された。	
12/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	徳島飛行場	東京国際空港	上昇中、計器の把握に不足があったことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
12/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA603J	東京国際空港	大阪国際空港	到着後、主脚構成品のスプリングが欠損していた。	
12/29	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA25MC			運航整備中、化粧室内の煙探知機の不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/30	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA709A	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA341J	青森空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/30	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA58AN	東京国際空港	庄内空港	悪天候による復行中、必要な操作を失念したことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
12/31	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA14JJ	香港	関西国際空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
12/31	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA18JJ			社内調査の結果、機内照明の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用したことが判明した。	
1/1	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA08MC			定時整備中、胴体から主翼上面を照らすの非常用照明灯が点灯しないことを発見された。	
1/1	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA710A	大阪国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/1	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	福岡空港	松本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	新千歳空港	秋田空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/3	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA05MC	北九州空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/3	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA880A	東京国際空港	パリ	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/3	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	福岡空港	離陸滑走中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/3	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA05MC	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/4	エアアジア・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA02DJ	中部国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/4	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	福岡空港	大阪国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/5	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA14JJ	関西国際空港	那覇空港	飛行中、気象レーダーに不具合があったことを示す計器表示があった。	
1/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	福岡空港	中部国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/5	全日本空輸	E7バス式A321-272N型	JA132A	東京国際空港	大分空港	到着後の点検で、第1エンジンの整流板が鳥衝突により損傷していることが発見された。	イレギュラー運航
1/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	那覇空港	東京国際空港	到着後の点検で、第2エンジンのファンブレードが外的要因により損傷していることが発見された。	
1/5	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	東京国際空港	サンフランシスコ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	中部国際空港	秋田空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q			定時整備中、客室内拡声器のサイレンがならないことを発見した。	
1/6	Peach Aviation	E7バス式A320-214型	JA812P	関西国際空港	香港	降下中、他機への管制指示を自機への指示と誤認したことから管制指示高度を超過した。	
1/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	那覇空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	アンカレッジ	運航整備中、バッテリーが放電していることを示す計器表示があった。	
1/7	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	福岡空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/8	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA23MC			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
1/8	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA23MC			装備品整備中、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
1/9	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA21MC	山口宇部空港	東京国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示が一時的にあった。	
1/10	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	那覇空港	富古空港	進入中、2つの航法表示装置が一時的に消えた。	
1/10	アドバンスドエアー	ロビンソン式R44型	JA7928			社内調査の結果、整備手順書を読み違えたことから部品を誤った方法で取り付けしていたことが判明した。	
1/11	全日本空輸	E7バス式A320-271N型	JA211A	瀋陽	成田国際空港	離陸後、業務量の増加により、自動推力調整装置の操作を失念したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
1/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	東京国際空港	台北(桃園)	整備委託先において、部品交換時の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	東京国際空港	台北(桃園)	整備委託先において、部品交換時の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
1/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	アムステルダム	ミラノ	委託先と意思疎通がとれておらず、確認も不足したことから運用許容基準の適用に必要な措置を行わないまま運行した。	
1/13	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA873A	シンガポール	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
1/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	東京国際空港	鹿児島空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	東京国際空港	福岡空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	福岡空港	東京国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	北九州空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	中部国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT	那覇空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
1/15	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8323	成田国際空港	大連	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
1/16	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC			運航整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
1/16	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	長崎空港	東京国際空港	フラップの故障後の不十分な対応操作により対地接近警報装置が作動した。	
1/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC			装備品整備中、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
1/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA658J	旭川空港	東京国際空港	到着後の点検で、第2エンジンのファンブレードが外的要因により損傷していることが発見された。	
1/19	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA13VA	成田国際空港	香港	運用許容基準を適用にあたり必要な操作を行っていなかったことが判明した。	
1/19	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA13VA	香港	成田国際空港	運用許容基準を適用にあたり必要な操作を行っていなかったことが判明した。	
1/21	日本航空	ボーイング式787-9型	JA871J	クアラルンプール	成田国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
1/21	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	久米島空港	那覇空港	地上担当者が貨物重量値を誤入力したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
1/22	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA15AN	東京国際空港	帯広空港	上昇中、化粧室内の煙探知機が作動した。	
1/23	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8595			定時整備中、主翼中央箱型構造部下面の外皮に腐食が発見された。	
1/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA858A	新千歳空港	中標津空港	進入中、乗員間の意思疎通に不足があったことから対地接近装置が作動した。	
1/23	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC			装備品整備中、航空機用救命無線機の出力が低い状態であることが判明した。	
1/24	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA22JJ			運航整備中、エンジン抽気ダクトの支柱の一部に製造者が認めていない部品が取り付けられていることが判明した。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA312J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA315J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA321J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA324J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA327J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA330J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA332J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA334J			作業指示書の不備により耐空性改善通報の実施に関する確認が行われなかった。	
1/25	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	成田国際空港	松山空港	地上走行中、航空機衝突防止装置の表示切り替えが出来なくなった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	香港	成田国際空港	整備委託先において、部品の取り付けが不十分であったことが判明した。	
1/25	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA212A			装備品整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
1/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20JJ	鹿児島空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	香港	成田国際空港	運航整備中、主脚格納室内の油圧配管の保持具に製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
1/26	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA132A	東京国際空港	美保飛行場	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
1/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20JJ	新千歳空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/27	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA98AD	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
1/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	アムステルダム	ミラノ	地上担当者の誤った認識により、本来隔離が必要な荷物が、一緒に梱包された状態で輸送された。	
1/28	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	成田国際空港	ハルビン	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/28	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	ハルビン	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/28	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ			救急用具の点検期限を誤って表示したことから有効期限を超過した。	
1/28	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA737J	シカゴ	成田国際空港	外装上にマーキング・ラベルなしの通常郵便の状態で危険物が持ち込まれた為、通常貨物として輸送したことが判明した。	
1/28	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	関西国際空港	台北(桃園)	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に無申告危険物が持ち込まれた。	
1/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	成田国際空港	上海(浦東)	運航整備中、バッテリーが放電していることを示す計器表示が一時的にあった。	
1/29	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA753A			定時整備中、胴体下部の外皮に腐食が発見された。	
1/29	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA17AN	福岡空港	中部国際空港	地上担当者が飲料水の排水を行わず、そのまま給水したことから、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
1/29	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA15VA			社内における記録確認において、手順書の確認に不足があったことから、誤った部品を使用したことが判明した。	
1/29	エアー・ジャパン	ボーイング式787-8型	JA840A	成田国際空港	台北(桃園)	規定改訂の周知に不足があったことから、代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
1/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J			定時整備中、胴体の前脚格納室の構造部に亀裂が発見された。	
1/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA313J	成田国際空港	中部国際空港	出発前の自動操縦装置の設定を誤ったことから、管制指示高度を逸脱した。	
1/30	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA242J	仙台空港	大阪国際空港	運航乗務員健康管理医の誤った認識により既往歴の必要な申告をせずに航空身体検査証明を受けていたことが判明した。	
1/31	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA815P	関西国際空港	那覇空港	飛行中、気象レーダーに不具合があったことを示す計器表示があった	イレギュラー運航
1/31	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	東京国際空港	ニューヨーク	担当者の誤った認識により、乗務時間が規定で定める上限を超過した。	
2/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	シカゴ	アンカレッジ	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/1	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA626A	成田国際空港	ヤンゴン	飛行動作開始時のアルコール検査を行ったところ、基準を超えるアルコール量が検知された。	
2/1	エアー・ジャパン	ボーイング式787-8型	JA834A	成田国際空港	香港	規定改訂の周知に不足があったことから、代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
2/1	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	名古屋飛行場	福岡空港	乗務前のアルコール検査を実施せずに運航したことが判明した。	
2/2	エアー・ジャパン	ボーイング式787-8型	JA804A	成田国際空港	香港	規定改訂の周知に不足があったことから、代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
2/2	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA83AN	福岡空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
2/3	琉球エア・コミュニティー	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	新石垣空港	那覇空港	整備委託先において、運用許容基準の適用にあたり誤った処置をしていたことが判明した。	
2/3	エアー・ジャパン	ボーイング式787-8型	JA801A	成田国際空港	香港	規定改訂の周知に不足があったことから、代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
2/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	名古屋飛行場	青森空港	地上担当者の確認不足により、客室乗務員の着座位置を誤ったことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
2/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q			整備委託先において、客室ドアハンドルの位置表示が誤った方向で取付けられていたことが判明した。	
2/4	エアー・ジャパン	ボーイング式787-8型	JA835A	成田国際空港	香港	規定改訂の周知に不足があったことから、代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
2/5	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA11RK	中部国際空港	那覇空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示が一時的にあった。	
2/5	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ			運航整備中、主脚格納室内の油圧配管の保持具に製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
2/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA24MC	東京国際空港	山口宇部空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/5	ANAウイングス	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA846A	大阪国際空港	大分空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
2/5	エアージャパン	ボーイング式787-8型	JA874A	成田国際空港	香港	規定改訂の周知に不足があったことから、代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
2/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA86AN	岩国飛行場	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/6	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA813X	台北(桃園)	鹿児島空港	地上担当者の確認不足により、手荷物重量の単位を誤ったことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
2/6	エアージャパン	ボーイング式787-8型	JA808A	成田国際空港	香港	規定改訂の周知に不足があったことから、代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
2/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	新千歳空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
2/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	アムステルダム	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
2/7	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	中部国際空港	那覇空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示が一時的にあった。	
2/7	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA224J	山形空港	大阪国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/7	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA818P	台北(桃園)	仙台空港	管制通話の確認不足により管制指示高度を逸脱した。	
2/7	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	高松空港	運航整備中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/7	エアージャパン	ボーイング式787-8型	JA804A	成田国際空港	香港	規定改訂の周知に不足があったことから、代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
2/7	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ	関西国際空港	香港	離陸に向けた地上走行中、客室乗務員の座席ベルトが外れた。	
2/7	日本航空	ボーイング式787-9型	JA869J	成田国際空港	上海(浦東)	産業医との確認不足により、術後の経過観察期間に抵触したことが判明した。	
2/7	朝日航洋	エアロスパニアル式AS332L型	JA6930			整備委託先において、主動力駆動装置の部品の限界使用時間が超過していたことが判明した。	
2/8	日本航空	ボーイング式787-8型	JA832J	バンコク	成田国際空港	飛行中、副操縦士席側(右側)前方の操縦室窓にひび割れが発生した。	
2/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R			社内調査の結果、操縦室内の照明に製造者が認めていない電球が取り付けられていたことが判明した。	
2/8	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	成田国際空港	アムステルダム	地上担当者の確認不足により、承認個数を超過して危険物を輸送したことが判明した。	
2/10	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA77AN	大館能代空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT	神戸空港	百里飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/11	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA622A	成田国際空港	ヤンゴン	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8286			定時整備中、胴体の客室扉開口部の構造に腐食が発見された。	
2/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA602J	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/13	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A	新千歳空港	秋田空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/13	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	中部国際空港	函館空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/13	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA53AN	成田国際空港	福岡空港	乗務員の誤認により管制指示高度を逸脱した。	
2/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	宮古空港	那覇空港	地上担当者の、連絡の不備により、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
2/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	新千歳空港	稚内空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/14	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA17AN			定時整備中、左主翼前縁の桁に腐食が発見された。	
2/15	新中央航空	ルーク式Dornier228-212型	JA34CA	調布飛行場	三宅島空港	離陸後、燃料の圧力が低下したことを示すライトが点灯した。	イレギュラー運航
2/15	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ	鹿児島空港	成田国際空港	離陸後、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示が一時的にあった。	
2/15	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ			整備委託先において、実施した整備作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
2/15	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	新千歳空港	お客様が、子供のチケットを大人として購入し搭乗したことが判明したことから、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
2/16	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA802X	大分空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/16	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA24JJ	成田国際空港	香港	急病人のため目的地を変更し、最大着陸重量を超過して着陸した。	
2/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AA	長崎空港	神戸空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/17	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
2/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC	東京国際空港	北九州空港	運航整備中、副操縦士用酸素供給装置の流量表示に不具合があったことが判明した。	
2/17	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8945	那覇空港	東京国際空港	到着後、主脚ブレーキの構成部品が欠損していた。	



日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
2/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	新千歳空港	東京国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/18	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	福岡空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/18	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	旭川空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便は無申告で輸送していたことが判明した。	
2/18	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA21JJ	那覇空港	成田国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/19	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA707A	神戸空港	東京国際空港	乗務前のアルコール検査においてアルコールが検知された。	
2/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA894A	ハノイ	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/20	日本航空	ボーイング式787-8型	JA834J	関西国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA606A	福岡空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA348J	東京国際空港	小松飛行場	降下中、計器の確認不足から、脚の運用限界速度を超過した。	
2/21	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	奄美空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/21	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA71AN	岩国飛行場	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/21	ジェットスター・ジャパン	E7バス式A320-232型	JA09JJ	成田国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に無申告危険物が持ち込まれた。	
2/22	Peach Aviation	E7バス式A320-214型	JA817P	台南	関西国際空港	上昇中、化粧室内の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
2/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	東京国際空港	那覇空港	着陸復行中、計器の確認不足から、フラップの運用限界速度を超過した。	
2/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA619J	成田国際空港	ホノルル	運航前、経路入力を誤ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
2/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
2/23	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ			定時整備中、胴体構造部の一部に製造図面と異なるファスナーが取り付けられていることが判明した。	
2/23	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA82AN	那覇空港	静岡空港	復行後の、上空待機中、確認が不足したことから、許可無く隣接管制圏に進入した。	
2/24	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	成田国際空港	高雄	到着後、第2エンジンの逆推力装置の集音パネルの一部が欠損していた。	
2/25	バニラ・エア	E7バス式A320-214型	JA07VA			装備品整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
2/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J	天津	中部国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
2/25	全日本空輸	E7バス式A321-211型	JA114A	鹿児島空港	大阪国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/25	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA891A	成田国際空港	ブリュッセル	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	グアム	成田国際空港	到着後、出発地の地上作業者の個人携帯電話が貨物室で発見された。	
2/26	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA617A	成都	成田国際空港	離陸後、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
2/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	那覇空港	宮古空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示が一時的にあった。	
2/26	せとうちSEAPLANES	クエスト式Kodiak 100型	JA07TG			社内調査の結果、エンジン隔壁の断熱材の点検期限を超過していたことが判明した。	
2/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	那覇空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA841A	宮崎空港	中部国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/27	ソラドエア	ボーイング式737-800型	JA812X	東京国際空港	宮崎空港	医薬品及び医療用具が使用出来ない状態で運航したことが判明した。	
2/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970			定時整備中、右水平安定板の外皮に腐食が発見された。	
2/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8970			定時整備中、左パイロンの構造部に亀裂が発見された。	
2/28	全日本空輸	E7バス・インガストリー式A320-211型	JA8947			装備品整備中、航空機用救命無線機に不具合が発見された。	
2/28	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	大阪国際空港	新千歳空港	誘導路標識を誤認したことから、誤った誘導路を走行した。	
2/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q			社内調査の結果、操縦室内の照明に製造者が認めていない電球が取り付けられていたことが判明した。	
3/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N			社内調査の結果、操縦室内の照明に製造者が認めていない電球が取り付けられていたことが判明した。	
3/1	スターフライヤー	E7バス式A320-214型	JA09MC			装備品整備中、操縦士用酸素供給装置の流量表示に不具合があったことが判明した。	
3/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	仙台空港	新千歳空港	上昇から巡航に移行する際、計器の把握に不足があったことから、運用限界速度を超過した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
3/2	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA23MC	台北(桃園)	中部国際空港	海外における整備委託後の運航において、確認会話不足により、領収検査が終わっていない状態で運航を開始した。	
3/3	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA01JJ	福岡空港	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	那覇空港	新石垣空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/3	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA89AN	大阪国際空港	仙台空港	乗り継ぎの保安検査にて危険物が発見されたことから、前便は無申告で輸送していたことが判明した。	
3/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	東京国際空港	台北(桃園)	整備委託先において、部品交換時の取り付け手順に誤りがあったことが判明した。	
3/4	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA20MC			定時整備中、乗客用座席に製造者が認めていない部品が使用されており、調査の結果、製造時に装着されていたことが判明した。	
3/5	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA225J	仙台空港	新千歳空港	進入中、脚が通常と異なる位置にあることを示す計器表示があった。	
3/6	エアアジア・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA01DJ	中部国際空港	台北(桃園)	乗務前のアルコール検査において、試験運用中の検知器でアルコールが検知されたにも関わらず、乗務したことが判明した。	
3/7	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA16JJ	中部国際空港	鹿児島空港	離陸に向けた地上走行中、客室乗務員の座席ベルトが外れた。	
3/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73TT	東京国際空港	東京国際空港	社内試験飛行中、フラップの収納操作を行ったところ左右で非対象な作動となった。	
3/7	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA05GR	重慶	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に無申告危険物が持ち込まれた。	
3/8	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA18JJ	関西国際空港	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/8	鹿児島国際航空	アグスタ式AW109SP型	JA01KG	鹿児島県鹿児島市場外	屋久島空港	操舵輪の最大切れ角状態で、通常のブレーキ操作を行った際に、脚の格納扉を損傷させた。	
3/8	ソランドエア	ボーイング式737-800型	JA805X	東京国際空港	大分空港	社内調査の結果、操縦室のライトに対して、誤った運用許容基準を適用したことが判明した。	
3/8	Peach Aviation	E7ハス式A320-214型	JA816P	関西国際空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/10	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	宮崎空港	大阪国際空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA627A	東京国際空港	広島	到着後の点検で、第2エンジンのファンブレードと集音材が損傷していることが発見された。	
3/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8988	出雲空港	東京国際空港	運用許容基準を適用にあたり必要な処置の一部を行っていなかったことが判明した。	
3/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	那覇空港	東京国際空港	着陸後の地上走行中、第1エンジンを停止したところ電気系統に不具合があったことを示す計器表示があった。	
3/12	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA783A	成田国際空港	ワシントン	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/13	日本航空	ボーイング式737-800型	JA307J	東京国際空港	小松飛行場	管制指示により、降下中、最低経路高度を超過した。	
3/13	ANAウイングス	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	対馬空港	福岡空港	着陸前の確認が不十分であったことから、着陸時、ギャレーのコンテナが飛び出した。	
3/13	ANAウイングス	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	福岡空港	新潟空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	新千歳空港	整備委託先の作業において、フラップフェアリングの取り付けに不備があったことが判明した。	
3/13	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA12VA			当該確認主任者の申告により、過去に実施した一部の作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
3/14	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA623A	東京国際空港	香港	乗務前のアルコール検査においてアルコールが検知された。	
3/14	朝日航洋	川崎式BK117C-2型	JA6916	竜ヶ崎飛行場	茨城県守谷市場外	場外離着陸場への着陸時、芝生で機体姿勢が変化した結果、メインローターシャフトの傾斜応力が運用限界を超過した。	
3/15	ANAウイングス	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	新潟空港	中部国際空港	離陸前の操作に不備があったことから、上昇中に客室の気圧高度の運用限界を超過した。	
3/16	アイベックスエアラインズ	ホンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ			整備委託先において、主翼のアクセスパネルを取り付けるスクリーンに製造者が認めていない部品が取り付けられていたことが判明した。	
3/17	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA13VA			機体から取り降ろした非常用装備品を確認したところ、既に交換期限が超過していたことが判明した。	
3/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	東京国際空港	青森空港	離陸後の脚上げ操作時、計器の確認不足から、脚下げ時におけるの運用限界速度を超過した。	
3/17	バニラ・エア	E7ハス式A320-214型	JA09VA			社内における記録確認において、電気計測作業で製造者が認めていない計測器が使用されていたことが判明した。	
3/18	日本航空	ボーイング式787-9型	JA874J	中部国際空港	ホノルル	飛行中、操縦士用酸素マスクを取り出したところホースが破断した。	
3/18	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA819A	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/18	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA22JJ			社内調査の結果、特別整備の実施期限が超過していたことが判明した。	
3/18	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	東京国際空港	ロンドン	着陸前の確認不足により管制指示経路を逸脱した。	
3/18	琉球エア・コミュニーター	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC			社内調査の結果、電気系統及び操縦系統に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
3/18	琉球エア・コミュニーター	ホンバルディア式DHC-8-402型	JA82RC			社内調査の結果、電気系統及び操縦系統に関する点検期限が超過していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
3/18	琉球エアークommューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC			社内調査の結果、電気系統及び操縦系統に関する点検期限が超過していたことが判明した。	
3/19	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	上海(浦東)	成田国際空港	整備委託先において、機内用酸素マスクの点検に不備があったことから使用期限を超過した。	
3/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA873A	ウィーン	東京国際空港口	到着後の点検で、第1エンジンの整流板及び消音材が鳥衝突により損傷していることが発見された。	
3/19	日本航空	ボーイング式737-800型	JA349J			社内調査の結果、構造修理後の繰り返し検査が行われていないことが判明した。	
3/20	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA04GR	成田国際空港	武漢	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	東京国際空港	東京国際空港	社内試験飛行中、フラップの代替展開の操作を行ったところ展開しなかった。	
3/21	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	東京国際空港	上海(虹橋)	ブッシュバック中に第1エンジンを始動したところ、定常回転に到達せず、エンジンに不具合があったことを示す計器表示があった。	
3/21	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	広島空港	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/21	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA605F	成田国際空港	上海(浦東)	ブッシュバック中、翼端監視者の緊急停止合図が伝わらず、後方で停止していた他機と接触した。	イレギュラー運航
3/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	福岡空港	中部国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/23	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	那覇空港	新石垣空港	離陸前、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示が一時的にあった。	
3/23	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA06GR	天津	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/24	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA71AN	宮古空港	中部国際空港	地上走行中、管制指示を誤認したことから、滑走路手前での制止を怠った。	
3/25	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA817P	香港	関西国際空港	上昇中、化粧室内の煙探知機に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
3/25	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA716A			特別整備中、操縦士用酸素マスクのホースが破れていたことが発見された。	
3/27	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA01HD	旭川空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	福岡空港	成田国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示が一時的にあった。	
3/27	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	宮崎空港	東京国際空港	地上走行中、未使用の滑走路に無許可で進入した。	
3/27	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8977	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC			定例整備中、客室内の酸素供給装置が規定値内で展開しないことが判明した。	
3/27	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8978	東京国際空港	新千歳空港	目的地に対する代替飛行場として選定できない空港を選定して運航した。	
3/27	北海道エアシステム	サーブ式SAAB340B型	JA02HC	三沢飛行場	札幌飛行場	高度の確認手順を誤り管制指示高度を超過した。	
3/27	日本航空	ボーイング式787-8型	JA824J	成田国際空港	香港	到着地の地上担当者が、貨物を開梱したところ危険物の貨物から内容物が漏れていることを発見した。	
3/27	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	中部国際空港	福岡空港	出発前、非常用脱出報知器の警報灯が不動作であることを発見した。	
3/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	那覇空港	福岡空港	進入中、自動操縦装置を手動でオフにしたところ、通常点灯するはずの警告灯が点灯しなかった。	
3/28	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA17JJ	宮崎空港	成田国際空港	着陸復行中、管制指示に気を取られ、操作が遅れたことから、フラップの運用限界速度を超過した。	
3/28	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J			社内調査の結果、実施した作業が航空日誌に記載されていないことが判明した。	
3/29	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA890A	シドニー	東京国際空港	地上走行中、経路の確認に不足があったことから閉鎖中の滑走路に進入した。	
3/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	鹿児島空港	東京国際空港	地上担当者の確認不足により、旅客の内訳を誤ったことから、重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
3/30	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA68AN			定例整備中、客室内の酸素供給装置が規定値内で展開しないことが判明した。	
3/30	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA25MC	関西国際空港	東京国際空港	運航整備中、非常用脱出報知器が不動作であることを発見した。	
3/30	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	成田国際空港	広島空港	進入中、誤った高度を入力したことから、管制指示高度を超過した。	
3/31	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA04GR	成田国際空港	広島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
3/31	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA254J	福岡空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	